

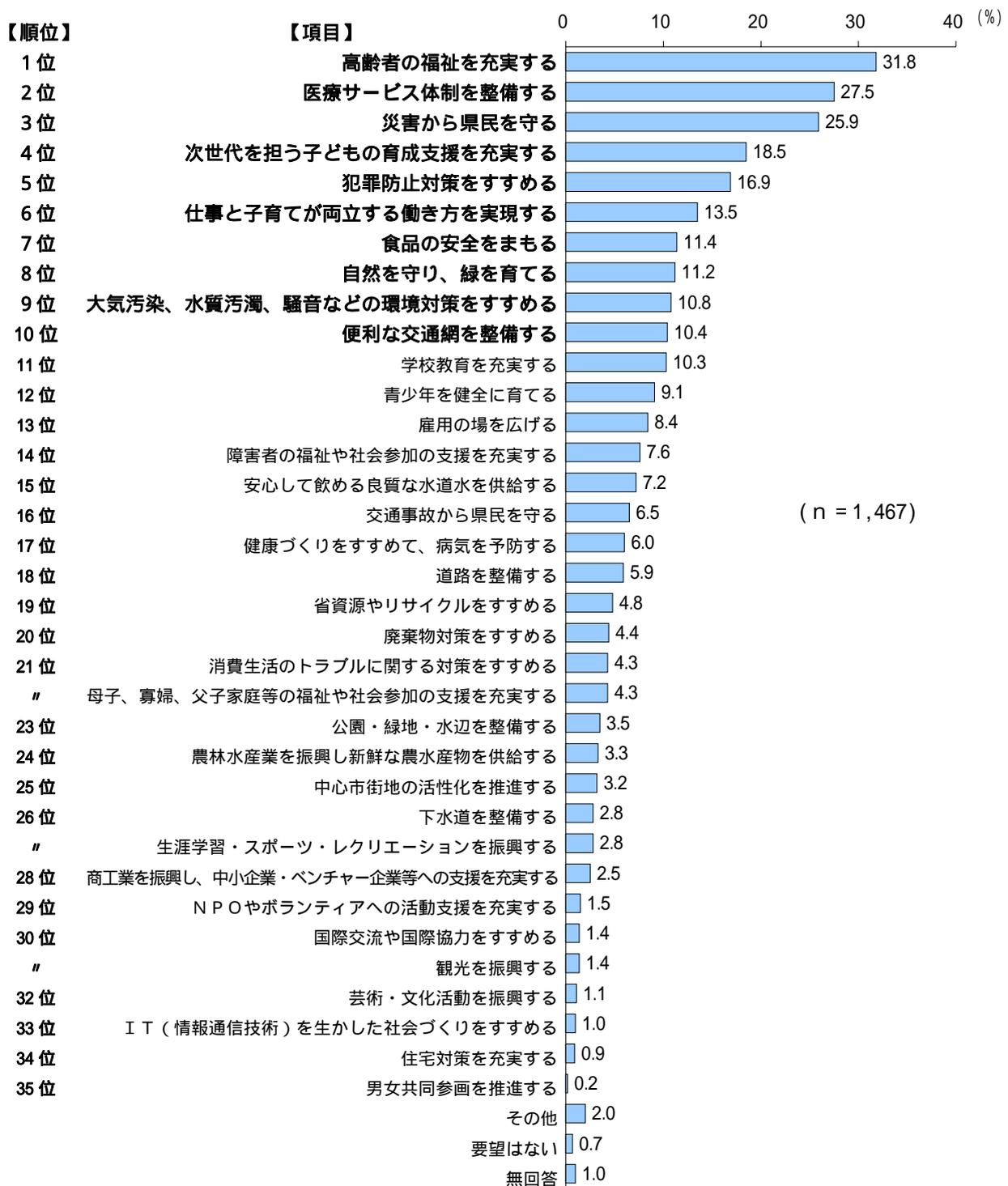
## 12 県政への要望

### (1) 県政への要望

第1位「高齢者の福祉を充実する」が3割を超える

問50 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の中から選んでください。( は3つまで)

<図表12-1> 県政への要望(複数回答)



県政への要望を3つまで選んでもらったところ、「高齢者の福祉を充実する」(31.8%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「医療サービス体制を整備する」(27.5%)と「災害から県民を守る」(25.9%)が2割台半ばを超える。続いて「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」(18.5%)と「犯罪防止対策をすすめる」(16.9%)が1割台後半となっている。(図表12-1)

【参考】平成15年以降の同様の項目による調査結果との比較(上位10項目の推移)

県政の要望に関しては継続して行ってきた設問であるが、前回の調査時に項目の見直しが行われ、回答に当たっての前提条件が変更された。そのため、厳密な意味で以前の調査との連続性はないが、参考までにこれまでの調査の推移を掲載する。(図表12-2)

【地域別】

いずれの地域においても「高齢者の福祉を充実する」が第1位になっているが、“南地域”では「災害から県民を守る」も同率で第1位となっている。「医療サービス体制を整備する」が“中央地域”(29.4%)と“東地域”(29.1%)で第2位であり、“南地域”(25.6%)や“西地域”(26.0%)に比べて高い比率となっている。また、全体の上位5位には入っていない「雇用の場を広げる」が“南地域”(16.2%)で第5位となっている。(図表12-3~4)

【性別、性・年代別】

性別では、男女ともに「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「災害から県民を守る」、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」が上位4位までを占めている。なお、男性では「犯罪防止対策をすすめる」(18.0%)が「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」と同率の第4位である。また、女性では「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」(17.2%)が第5位である一方、この項目は男性の上位10位には入っていない。このほか、男性では「便利な交通網を整備する」が第7位、「青少年を健全に育てる」が第9位となっているが、女性の上位10位までには入っておらず、逆に、女性では「学校教育を充実する」が第8位であるが、男性の上位10位には入っていない。

「高齢者の福祉を充実する」は男性の20代及び50歳以上と女性の40代及び60歳以上で第1位となっており、特に女性60歳以上(47.2%)は約5割である。「災害から県民を守る」は、女性の30代を除いたいずれの年代でも上位5項目に入っており、女性20代では第1位となっている。その一方で、女性の30代では、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」と「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」が第1位であるなど、年齢による特徴がみられる。(図表12-3~4)

【今回の調査結果の特徴】

これまでの調査結果等を踏まえた今回調査の主な特徴は、以下のとおりである。

1. 「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「災害から県民を守る」(平成16年以前の調査項目としては、「高齢化社会対策」、「保健・医療対策」、「防災対策」におおむね該当)に対し、各層からの広範かつ根強い要望がある。

「高齢者の福祉を充実する」

- ・例年第1位である。(14年連続第1位。)
- ・前回の調査では“中央地域”のみ第1位だったが、今回の調査では全ての地域で第1位。
- ・今回の調査では、男性の30代を除けば、いずれの層でも上位5位以内。

「医療サービス体制を整備する」

- ・これまでも高い順位にあったが、今回順位を一つ上げて第2位となった。
- ・例年、男性よりも女性の方が順位は高い傾向にある。
- ・これまで、女性の30代ではおおむね第1位となっていたが、今回の調査では、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」と「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」に順位を逆転された。

「災害から県民を守る」

- ・平成7年度に起きた『阪神・淡路大震災』をはじめ、大きな災害の被害が伝えられると順位が上がる傾向にある。
- ・近年の調査では順位を上げつつあり、昨年は「高齢者の福祉を充実する」に次いで第2位で、今回は第3位だった。
- ・今回の調査では、女性の30代を除けば、いずれの層でも上位5位以内。

2. 30～40代を中心とした層からの、「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」や「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」(平成16年以前の調査項目としては、「少子化・子ども対策」や「少子化対策」、「雇用の安定と労働者福祉の向上」におおむね該当)に対する要望順位が上昇した。

- ・両方の項目とも、これまで全体では上位5位以降の順位だったが、今回の調査では第4位と第6位にそれぞれ順位を上げた。
- ・地域による大きな違いはみられず、男性よりも女性の方が順位は高い傾向にある。
- ・30代では男女ともに「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」が第1位。そして、女性の30代において顕著であるが、「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」が「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」と同率で第1位である。



<図表12 - 3 > 県政への要望（上位1位～5位）/ 地域別、性別、性・年代別

	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体	1,467	高齢者の福祉を充実する (31.8)	医療サービス体制を整備する (27.5)	災害から県民を守る (25.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.5)	犯罪防止対策をすすめる (16.9)
【地域別】						
中央地域	470	高齢者の福祉を充実する (30.6)	医療サービス体制を整備する (29.4)	災害から県民を守る (25.3)	犯罪防止対策をすすめる (18.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.3)
東地域	251	高齢者の福祉を充実する (33.5)	医療サービス体制を整備する (29.1)	災害から県民を守る (23.5)	犯罪防止対策をすすめる (19.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.9)
南地域	117	災害から県民を守る / 高齢者の福祉を充実する (28.2)		医療サービス体制を整備する (25.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.9)	雇用の場を広げる (16.2)
西地域	596	高齢者の福祉を充実する (33.1)	災害から県民を守る (26.8)	医療サービス体制を整備する (26.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.5)	犯罪防止対策をすすめる (15.9)
【性別】						
男性(計)	693	高齢者の福祉を充実する (29.7)	災害から県民を守る (26.3)	医療サービス体制を整備する (25.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 犯罪防止対策をすすめる (18.0)	
女性(計)	792	高齢者の福祉を充実する (33.6)	医療サービス体制を整備する (29.0)	災害から県民を守る (25.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.3)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (17.2)
【性・年代別】						
男性20代	55	高齢者の福祉を充実する / 犯罪防止対策をすすめる (23.6)		災害から県民を守る (21.8)	大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる (20.0)	便利な交通網を整備する (16.4)
30代	121	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (28.9)	医療サービス体制を整備する (23.1)	災害から県民を守る (22.3)	犯罪防止対策をすすめる (21.5)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (18.2)
40代	99	医療サービス体制を整備する (27.3)	災害から県民を守る / 犯罪防止対策をすすめる (23.2)		高齢者の福祉を充実する (22.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.2)
50代	152	高齢者の福祉を充実する (30.3)	災害から県民を守る (27.0)	医療サービス体制を整備する (23.7)	自然を守り、緑を育てる (19.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 犯罪防止対策をすすめる (15.8)
60歳以上	212	高齢者の福祉を充実する (44.8)	災害から県民を守る / 医療サービス体制を整備する (30.7)		次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 犯罪防止対策をすすめる (13.7)	
女性20代	72	災害から県民を守る (34.7)	犯罪防止対策をすすめる (30.6)	医療サービス体制を整備する / 仕事と子育てが両立する働き方を実現する (25.0)		高齢者の福祉を充実する (19.4)
30代	158	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 仕事と子育てが両立する働き方を実現する (35.4)		医療サービス体制を整備する (26.6)	学校教育を充実する (19.6)	高齢者の福祉を充実する (19.0)
40代	158	高齢者の福祉を充実する / 医療サービス体制を整備する (32.3)		犯罪防止対策をすすめる (22.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.2)	災害から県民を守る (20.3)
50代	150	医療サービス体制を整備する (38.0)	高齢者の福祉を充実する (34.7)	災害から県民を守る (26.7)	雇用の場を広げる (15.3)	食品の安全をまもる (14.7)
60歳以上	252	高齢者の福祉を充実する (47.2)	災害から県民を守る (31.3)	医療サービス体制を整備する (24.6)	食品の安全をまもる (18.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.7)

<図表12 - 4 > 県政への要望（上位6位～10位）/ 地域別、性別、性・年代別

	n	6位	7位	8位	9位	10位
全 体	1,467	仕事と子育てが両立する働き方を実現する（13.5）	食品の安全をまもる（11.4）	自然を守り、緑を育てる（11.2）	大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（10.8）	便利な交通網を整備する（10.4）
<b>【地域別】</b>						
中央地域	470	仕事と子育てが両立する働き方を実現する（12.6）	食品の安全をまもる（11.7）	自然を守り、緑を育てる（11.5）	便利な交通網を整備する / 大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（10.4）	
東 地 域	251	仕事と子育てが両立する働き方を実現する（14.7）	便利な交通網を整備する（11.2）	青少年を健全に育てる（10.4）	自然を守り、緑を育てる（9.2）	食品の安全をまもる / 大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（8.8）
南 地 域	117	食品の安全をまもる（12.8）	仕事と子育てが両立する働き方を実現する / 学校教育を充実する（12.0）		犯罪防止対策をすすめる（10.3）	中心市街地の活性化を推進する / 障害者の福祉や社会参加の支援を充実する / 青少年を健全に育てる / 自然を守り、緑を育てる（9.4）
西 地 域	596	仕事と子育てが両立する働き方を実現する（14.4）	大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（13.3）	自然を守り、緑を育てる（11.7）	食品の安全をまもる（11.6）	学校教育を充実する（11.2）
<b>【性別】</b>						
男 性	693	大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（12.2）	便利な交通網を整備する / 自然を守り、緑を育てる（11.9）		青少年を健全に育てる（9.9）	食品の安全をまもる（9.5）
女 性	792	犯罪防止対策をすすめる（15.9）	食品の安全をまもる（12.8）	学校教育を充実する（11.7）	自然を守り、緑を育てる（10.4）	大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（9.8）
<b>【性・年代別】</b>						
男性20代	55	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 医療サービス体制を整備する / 自然を守り、緑を育てる（14.5）		仕事と子育てが両立する働き方を実現する（12.7）	食品の安全をまもる / 青少年を健全に育てる / 省資源やリサイクルをすすめる / 道路を整備する（10.9）	
30代	121	大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（13.2）	高齢者の福祉を充実する（11.6）	便利な交通網を整備する / 自然を守り、緑を育てる（10.7）		公園・緑地・水辺を整備する（9.9）
40代	99	学校教育を充実する（18.2）	雇用の場を広げる（14.1）	大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（13.1）	便利な交通網を整備する / 自然を守り、緑を育てる（12.1）	
50代	152	---	便利な交通網を整備する / 雇用の場を広げる（13.8）		大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（11.8）	道路を整備する（10.5）
60歳以上	212	青少年を健全に育てる（13.2）	食品の安全をまもる（11.8）	交通事故から県民を守る（10.4）	便利な交通網を整備する（9.9）	大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる / 仕事と子育てが両立する働き方を実現する（9.4）
女性20代	72	障害者の福祉や社会参加の支援を充実する（15.3）	便利な交通網を整備する / 自然を守り、緑を育てる（13.9）		省資源やリサイクルをすすめる（12.5）	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 公園・緑地・水辺を整備する（11.1）
30代	158	犯罪防止対策をすすめる（15.8）	災害から県民を守る（15.2）	自然を守り、緑を育てる（13.9）	便利な交通網を整備する（10.8）	食品の安全をまもる（10.1）
40代	158	学校教育を充実する（18.4）	仕事と子育てが両立する働き方を実現する（13.3）	青少年を健全に育てる（12.0）	障害者の福祉や社会参加の支援を充実する（11.4）	大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（10.8）
50代	150	仕事と子育てが両立する働き方を実現する（14.0）	大気汚染、水質汚濁などの環境対策をすすめる（13.3）	犯罪防止対策をすすめる（12.7）	障害者の福祉や社会参加の支援を充実する（11.3）	自然を守り、緑を育てる（10.7）
60歳以上	252	健康づくりをすすめて、病気を予防する（13.9）	安心して飲める良質な水道水を供給する（12.7）	青少年を健全に育てる（10.7）	犯罪防止対策をすすめる（9.5）	便利な交通網を整備する / 自然を守り、緑を育てる（8.3）

## ( 1 - 1 ) 各政策への具体的な要望

具体的な要望を、表の左側より問50でご回答いただいた番号（要望）を探し出していただき、その上で、表の右側（＝網掛け部分）から、最も要望する項目を選んでください。  
（ はそれぞれ1つ）

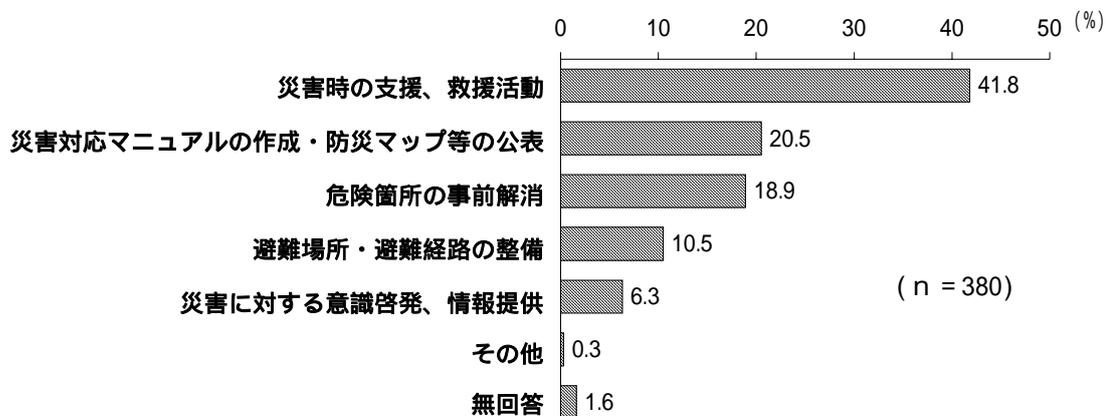
問 50 で県政への要望を 3 つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問 50 の回答状況次第では、n の値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを示す。

### 1 災害から県民を守る

「災害時の支援、救援活動」( 41.8% ) が 4 割を超え最も高く、「災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表」( 20.5% ) と「危険箇所の事前解消」( 18.9% ) が 2 割前後で続く。( 図表12 - 5 )

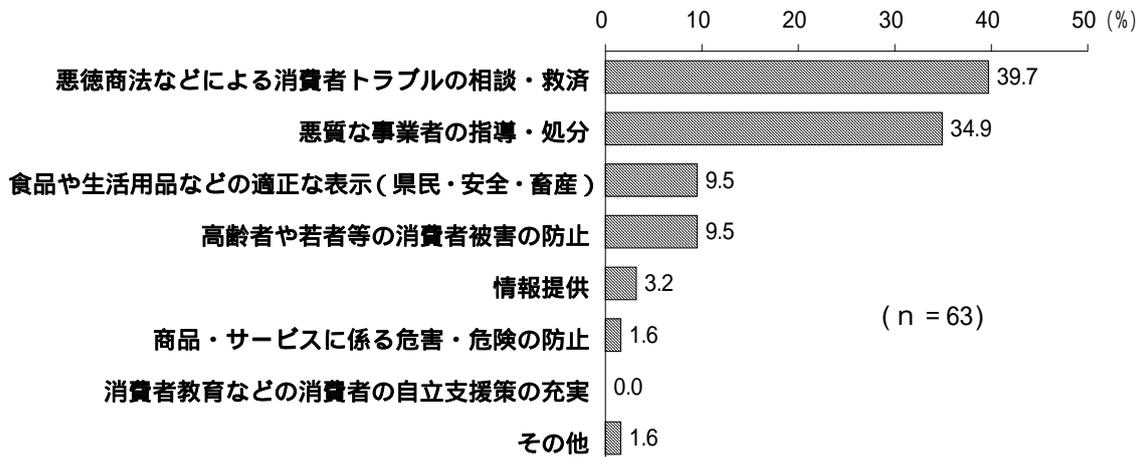
< 図表12 - 5 > 災害から県民を守る



## 2 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる

「悪徳商法などによる消費者トラブルの相談・救済」(39.7%)が約4割で最も高く、次いで、「悪質な事業者の指導・処分」(34.9%)が3割台半ばで、これら上位2項目が突出している。(図表12-6)

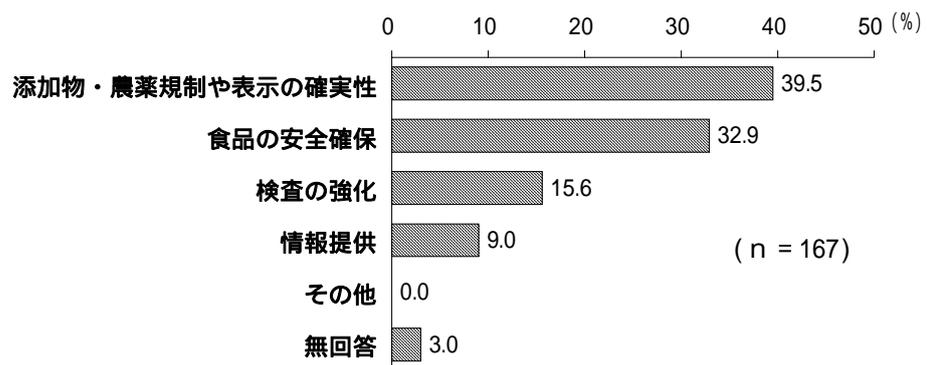
<図表12-6> 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



## 3 食品の安全をまもる

「添加物・農薬規制や表示の確実性」(39.5%)が約4割で最も高く、次いで、「食品の安全確保」(32.9%)が3割を超え、これら上位2項目が突出している。(図表12-7)

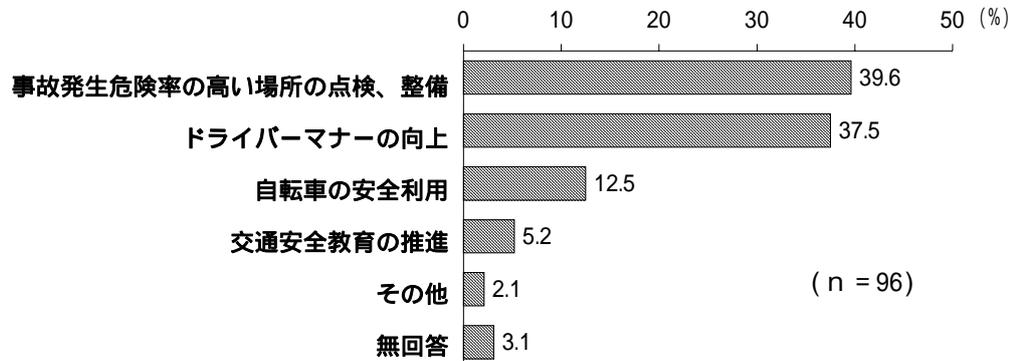
<図表12-7> 食品の安全をまもる



#### 4 交通事故から県民を守る

「事故発生危険率の高い場所の点検、整備」(39.6%)と「ドライバーマナーの向上」(37.5%)が約4割で突出。(図表12-8)

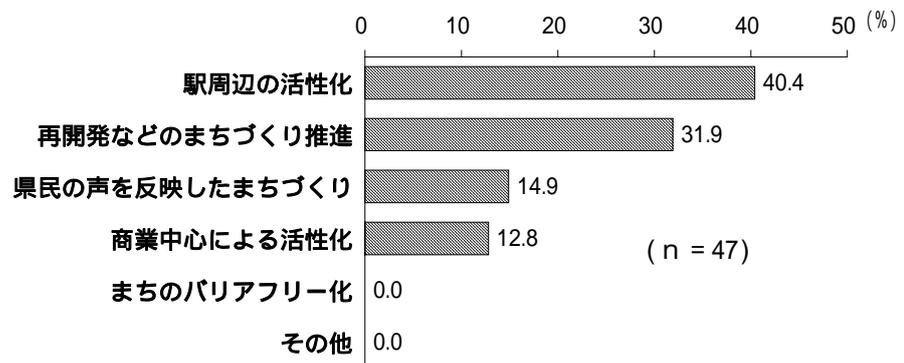
<図表12-8> 交通事故から県民を守る



#### 5 中心市街地の活性化を推進する

「駅周辺の活性化」(40.4%)が4割で最も高く、次いで、「再開発などのまちづくり推進」(31.9%)が3割を超える。(図表12-9)

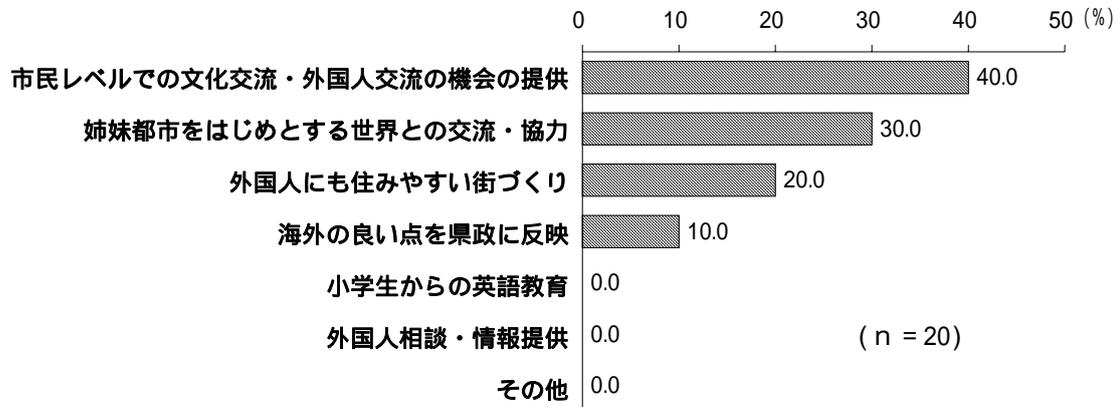
<図表12-9> 中心市街地の活性化を推進する



## 6 国際交流や国際協力をすすめる

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表12 - 10)

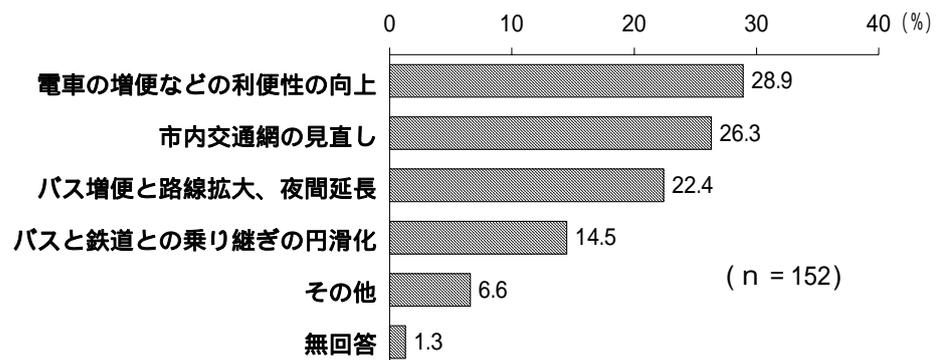
<図表12 - 10> 国際交流や国際協力をすすめる



## 7 便利な交通網を整備する

「電車の増便などの利便性の向上」(28.9%)が約3割で最も高く、次いで、「市内交通網の見直し」(26.3%)が2割台半ばとなっている。また、「バス増便と路線拡大、夜間延長」(22.4%)も2割を超える。(図表12 - 11)

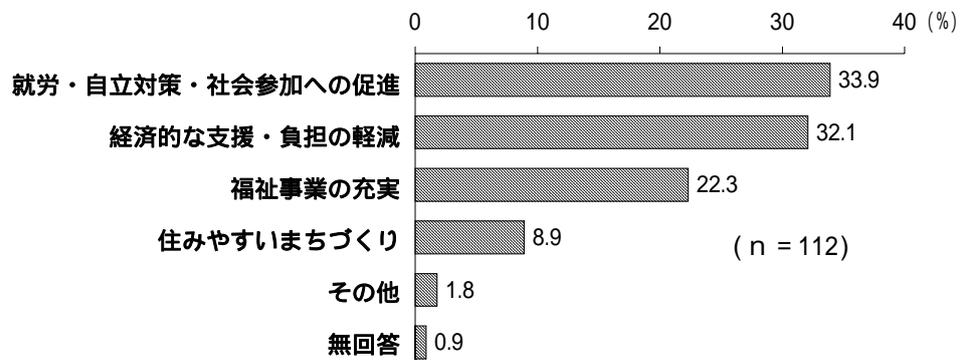
<図表12 - 11> 便利な交通網を整備する



## 8 障害者の福祉や社会参加の支援を充実する

「就労・自立対策・社会参加への促進」(33.9%)が3割台半ばで最も高く、僅差で「経済的な支援・負担の軽減」(32.1%)が続く。また、「福祉事業の充実」(22.3%)が2割を超える。(図表12-12)

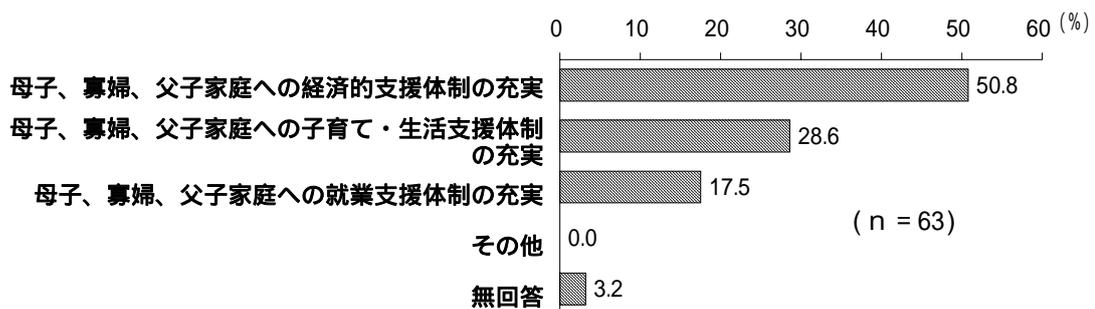
<図表12-12> 障害者の福祉や社会参加の支援を充実する



## 9 母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する

「母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実」(50.8%)が5割で最も高くなっている。次いで、「母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実」(28.6%)は約3割である。(図表12-13)

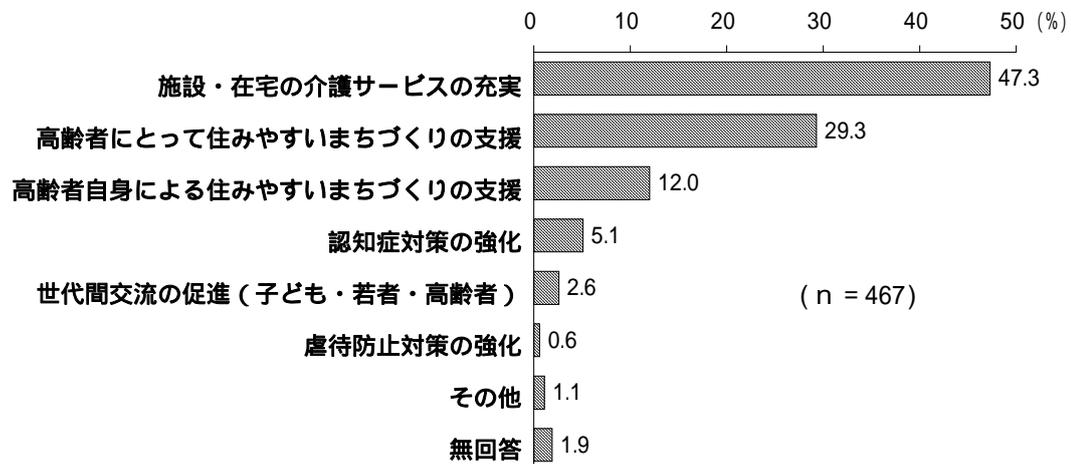
<図表12-13> 母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する



## 10 高齢者の福祉を充実する

「施設・在宅の介護サービスの充実」(47.3%)が約5割で最も高く、次いで、「高齢者にとって住みやすいまちづくりの支援」(29.3%)が約3割となっている。(図表12-14)

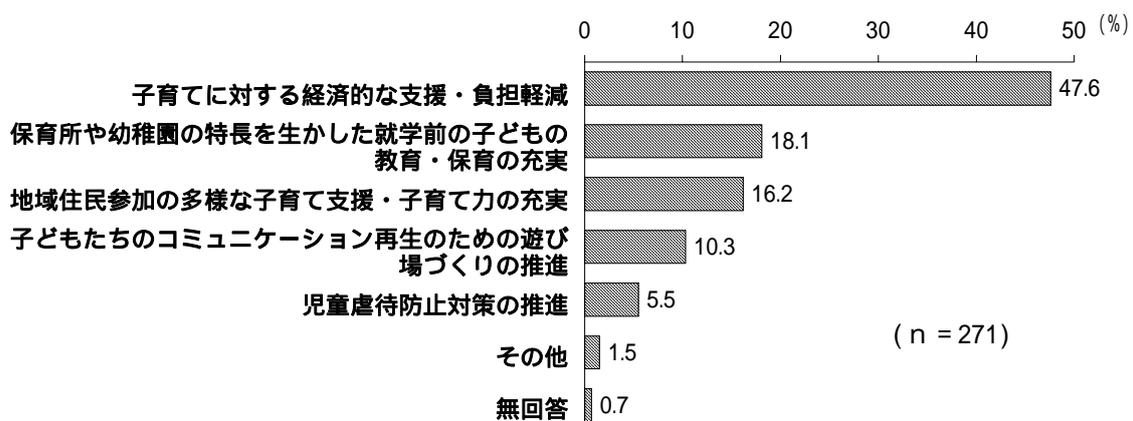
<図表12-14> 高齢者の福祉を充実する



## 11 次世代を担う子どもの育成支援を充実する

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」(47.6%)が約5割で最も高くなっている。次いで、「保育所や幼稚園の特長を生かした就学前の子どもへの教育・保育の充実」(18.1%)が約2割、僅差で「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」(16.2%)が1割台半ばとなっている。(図表12-15)

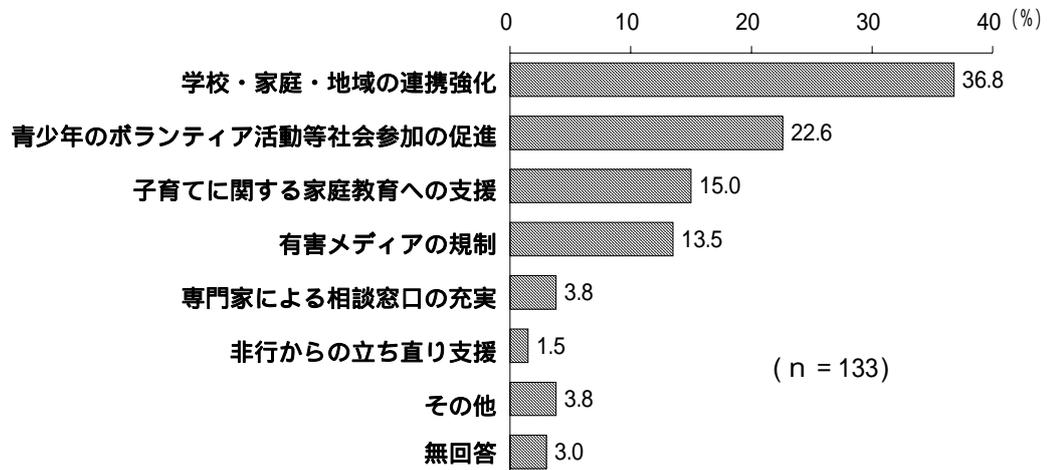
<図表12-15> 次世代を担う子どもの育成支援を充実する



## 12 青少年を健全に育てる

「学校・家庭・地域の連携強化」(36.8%)が3割台半ばで最も高く、次いで、「青少年のボランティア活動等社会参加の促進」(22.6%)が2割を超える。(図表12-16)

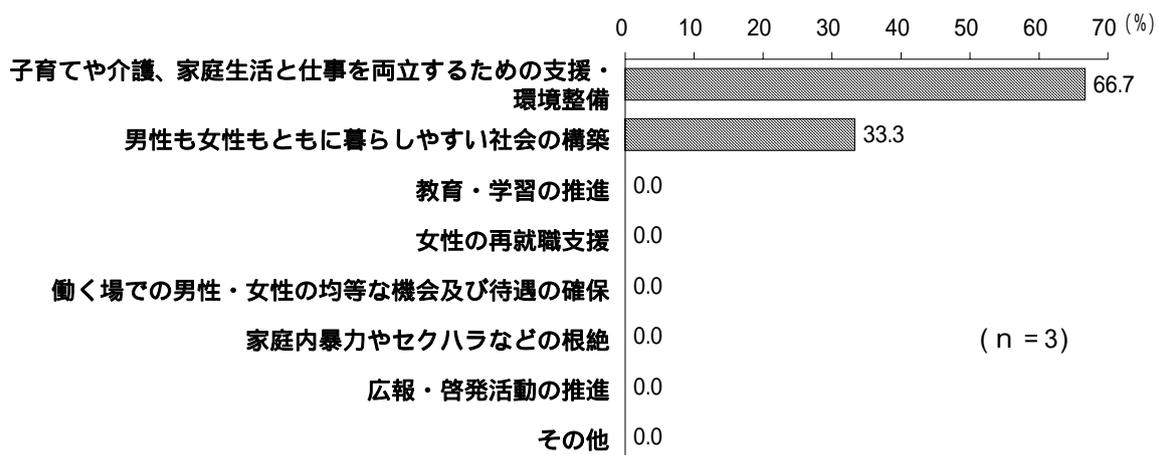
<図表12-16> 青少年を健全に育てる



## 13 男女共同参画を推進する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表12-17)

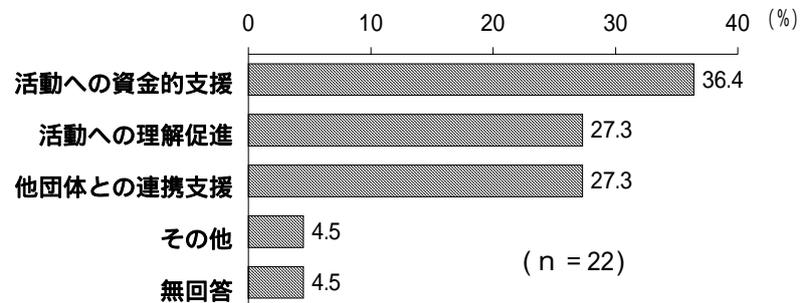
<図表12-17> 男女共同参画を推進する



## 14 NPOやボランティアへの活動支援を充実する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表12 - 18)

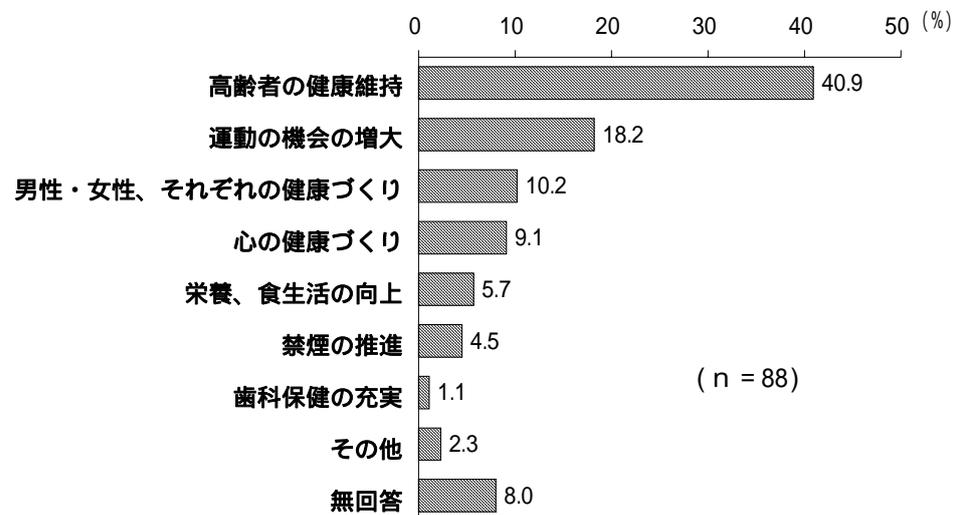
<図表12 - 18> NPOやボランティアへの活動支援を充実する



## 15 健康づくりをすすめて、病気を予防する

「高齢者の健康維持」(40.9%)が4割で最も高い。次いで、「運動の機会の増大」(18.2%)が約2割である。(図表12 - 19)

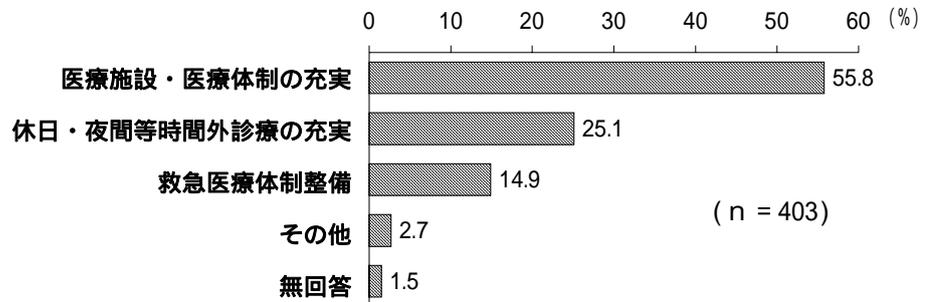
<図表12 - 19> 健康づくりをすすめて、病気を予防する



## 16 医療サービス体制を整備する

「医療施設・医療体制の充実」(55.8%)が5割台半ばで最も高く、次いで、「休日・夜間等時間外診療の充実」(25.1%)が2割台半ばとなっている。(図表12-20)

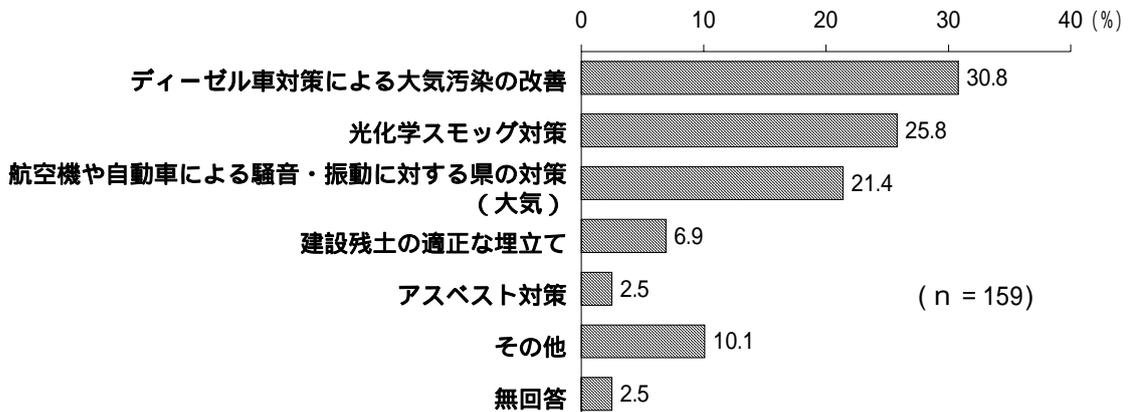
<図表12-20> 医療サービス体制を整備する



## 17 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる

「ディーゼル車対策による大気汚染の改善」(30.8%)が3割で最も高くなっている。次いで、「光化学スモッグ対策」(25.8%)が2割台半ばで、「航空機や自動車による騒音・振動に対する県の対策(大気)」(21.4%)も2割を超える。(図表12-21)

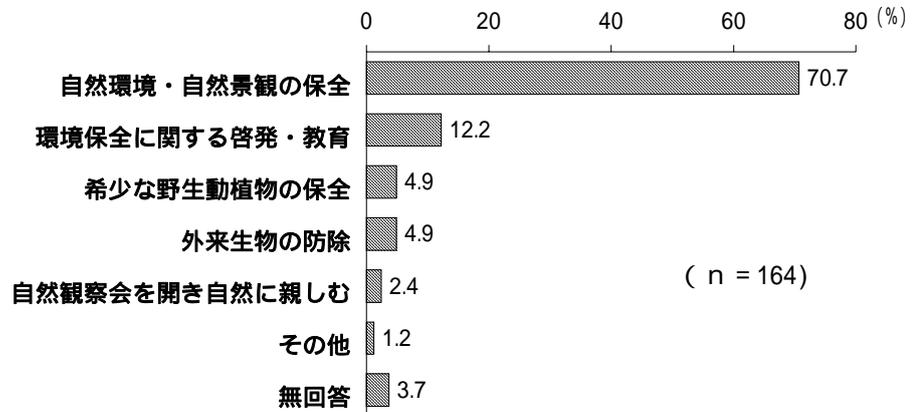
<図表12-21> 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



18 自然を守り、緑を育てる

「自然環境・自然景観の保全」(70.7%)が7割で最も高くなっている。(図表12-22)

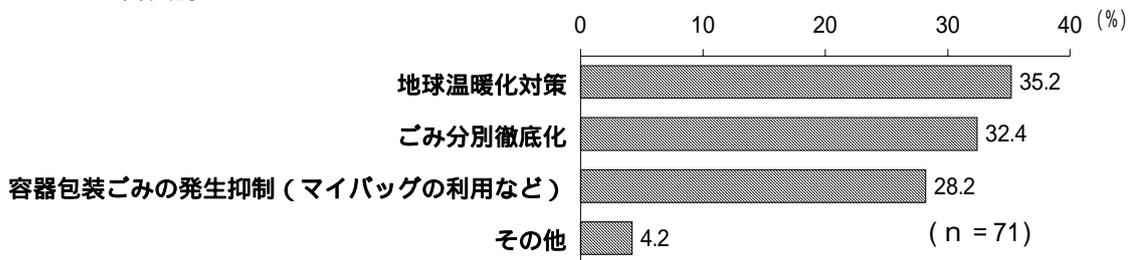
<図表12-22> 自然を守り、緑を育てる



19 省資源やリサイクルをすすめる

「地球温暖化対策」(35.2%)が3割台半ばで、僅差で「ごみ分別徹底化」(32.4%)が続く。「容器包装ごみの発生抑制(マイバグの利用など)」(28.2%)は約3割である。(図表12-23)

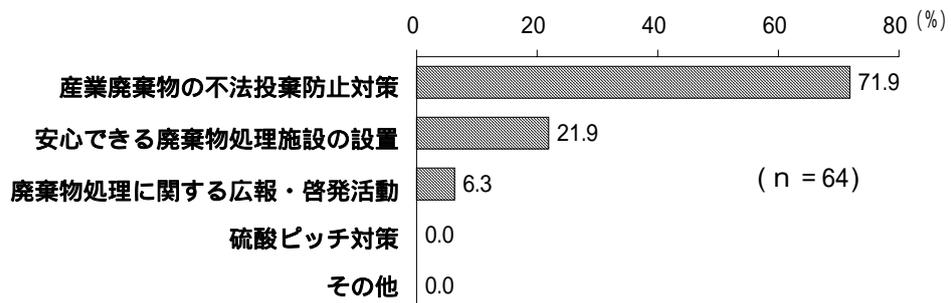
<図表12-23> 省資源やリサイクルをすすめる



20 廃棄物対策をすすめる

「産業廃棄物の不法投棄防止対策」(71.9%)が7割を超え最も高い。(図表12-24)

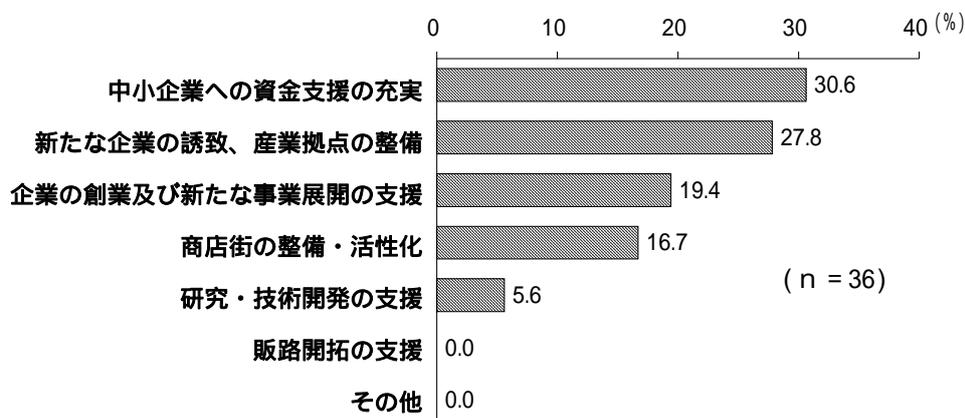
<図表12-24> 廃棄物対策をすすめる



## 21 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する

「中小企業への資金支援の充実」(30.6%)が3割で最も高く、僅差で「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」(27.8%)が続く。このほか、「企業の創業及び新たな事業展開の支援」(19.4%)が約2割である。(図表12-25)

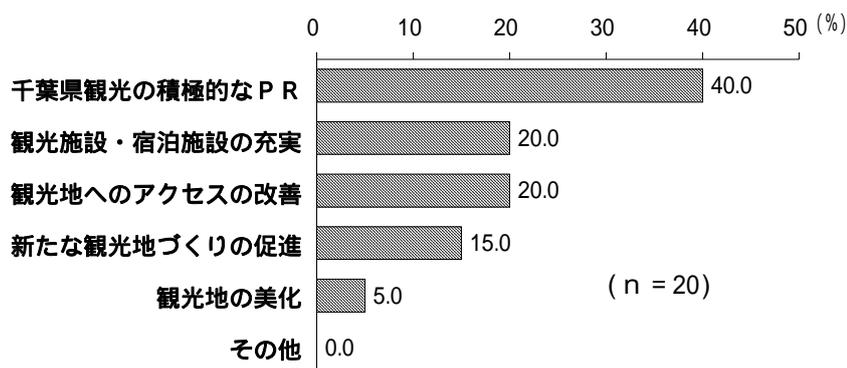
<図表12-25> 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する



## 22 観光を振興する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表12-26)

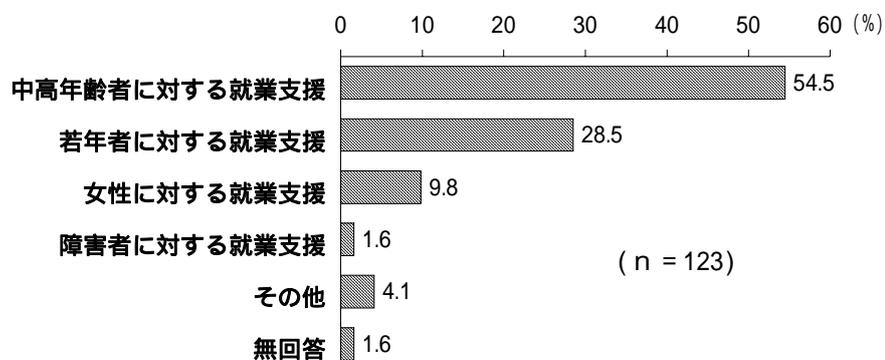
<図表12-26> 観光を振興する



## 23 雇用の場を広げる

「中高年齢者に対する就業支援」(54.5%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「若年者に対する就業支援」(28.5%)が約3割である。(図表12-27)

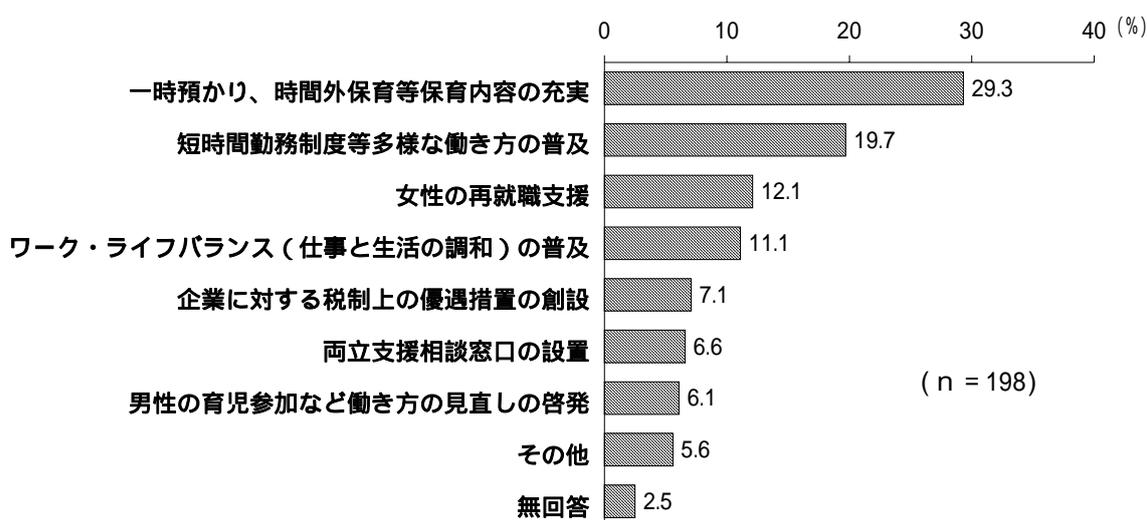
<図表12-27> 雇用の場を広げる



## 24 仕事と子育てが両立する働き方を実現する

「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」(29.3%)が約3割で最も高く、次いで、「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」(19.7%)が約2割である。(図表12-28)

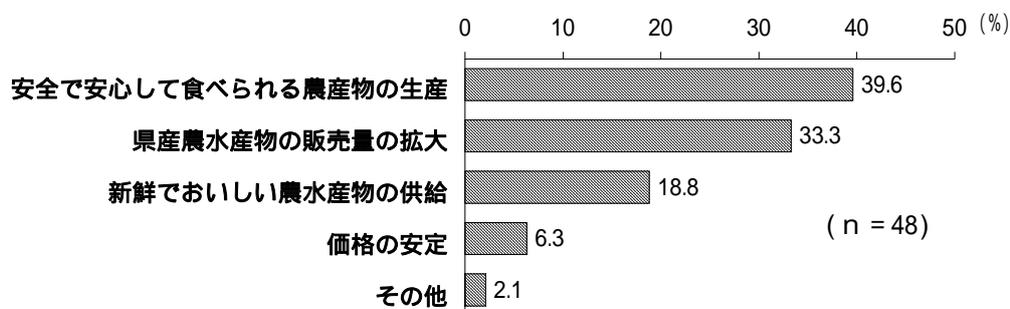
<図表12-28> 仕事と子育てが両立する働き方を実現する



## 25 農林水産業を振興し新鮮な農水産物を供給する

「安全で安心して食べられる農産物の生産」(39.6%)が約4割で最も高く、次いで、「県産農水産物の販売量の拡大」(33.3%)が3割台半ばとなっている。また、「新鮮でおいしい農水産物の供給」(18.8%)が約2割である。(図表12-29)

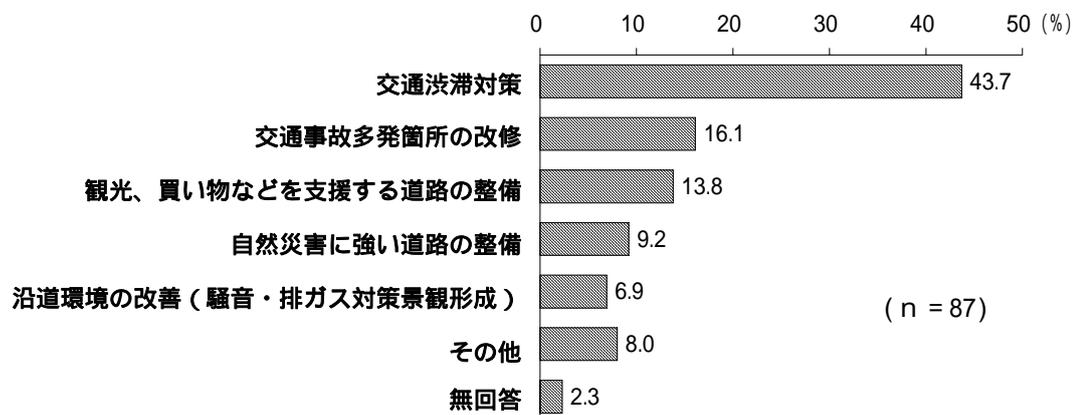
<図表12-29> 農林水産業を振興し新鮮な農水産物を供給する



## 26 道路を整備する

「交通渋滞対策」(43.7%)が4割台半ばで最も高い。(図表12-30)

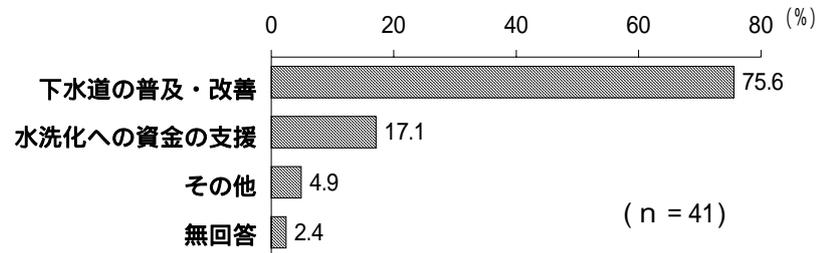
<図表12-30> 道路を整備する



## 27 下水道を整備する

「下水道の普及・改善」(75.6%)が7割台半ばで最も高い。(図表12-31)

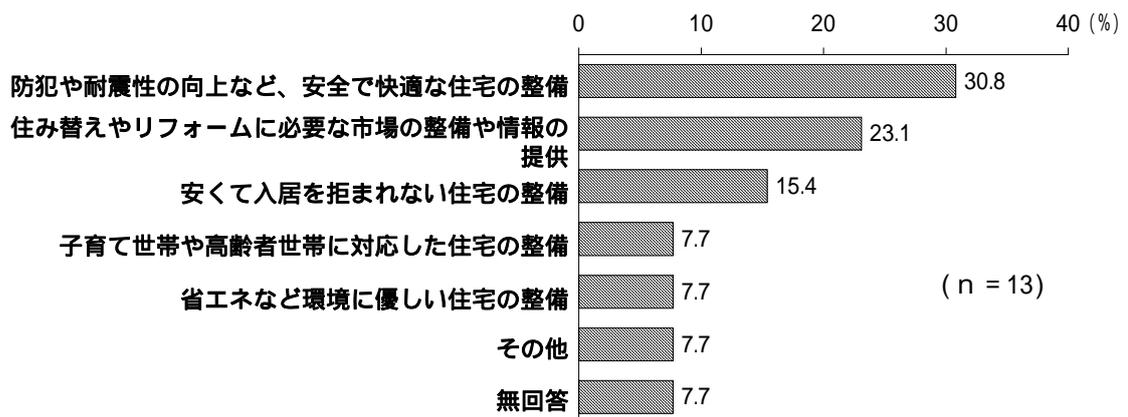
<図表12-31> 下水道を整備する



## 28 住宅対策を充実する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表12-32)

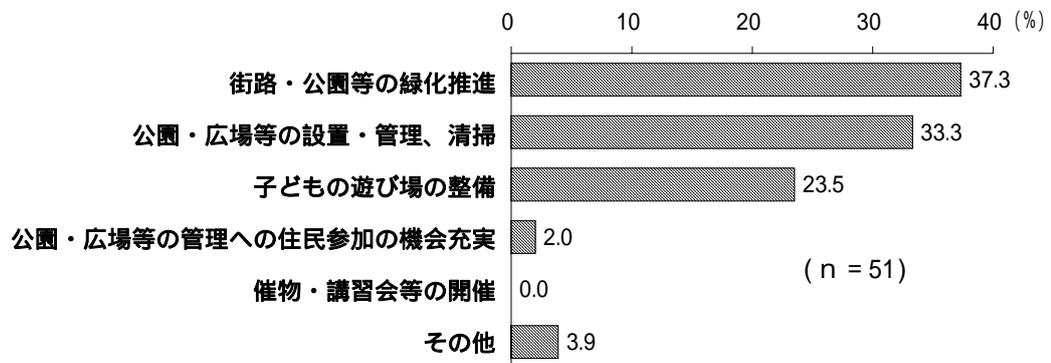
<図表12-32> 住宅対策を充実する



## 29 公園・緑地・水辺を整備する

「街路・公園等の緑化推進」(37.3%)が約4割で最も高く、次いで、「公園・広場等の設置・管理、清掃」(33.3%)が3割台半ばとなっている。また、「子どもの遊び場の整備」(23.5%)が2割台半ばとなっている。(図表12-33)

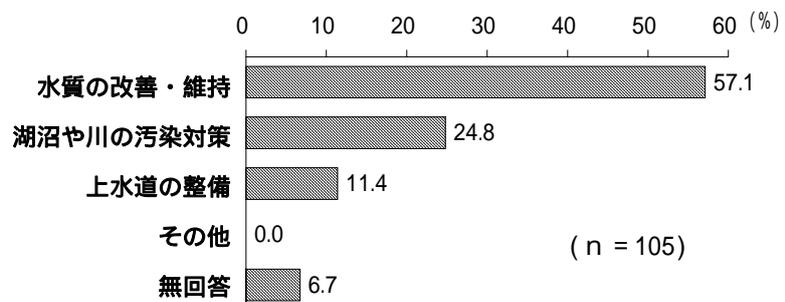
<図表12-33> 公園・緑地・水辺を整備する



## 30 安心して飲める良質な水道水を供給する

「水質の改善・維持」(57.1%)が約6割で最も高く、次いで、「湖沼や川の汚染対策」(24.8%)が2割台半ばとなっている。(図表12-34)

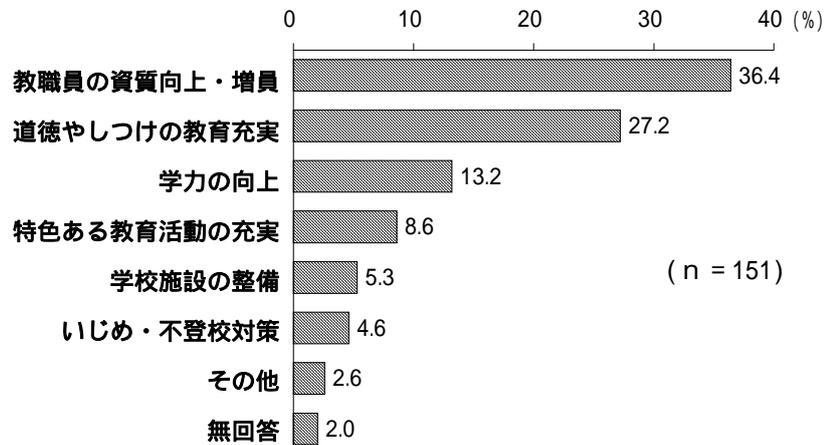
<図表12-34> 安心して飲める良質な水道水を供給する



### 31 学校教育を充実する

「教職員の資質向上・増員」(36.4%)が3割台半ばで最も高く、次いで、「道徳やしつけの教育充実」(27.2%)が約3割となっている。(図表12-35)

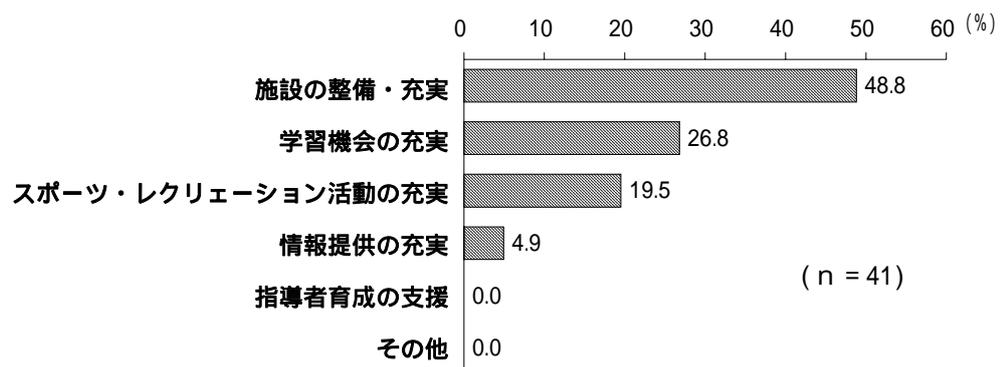
<図表12-35> 学校教育を充実する



### 32 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する

「施設の整備・充実」(48.8%)が約5割で最も高く、次いで、「学習機会の充実」(26.8%)が2割台半ばとなっている。(図表12-36)

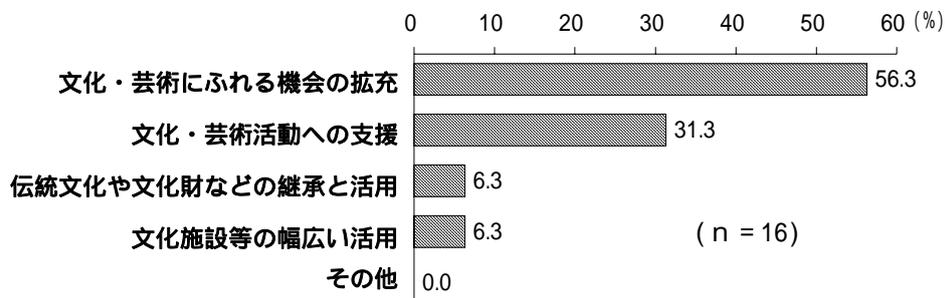
<図表12-36> 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する



### 33 芸術・文化活動を振興する

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表12-37)

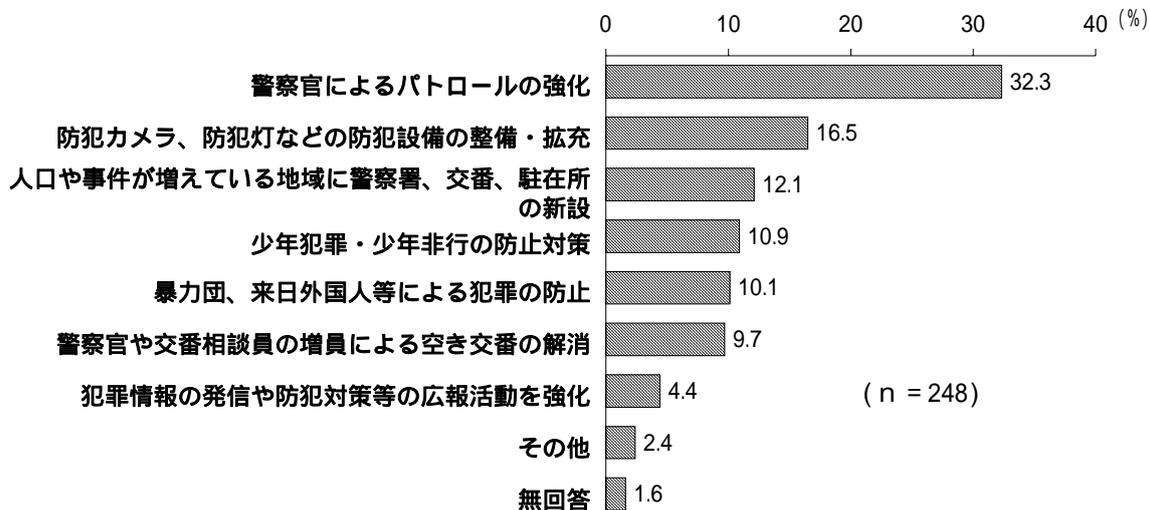
<図表12-37> 芸術・文化活動を振興する



### 34 犯罪防止対策をすすめる

「警察官によるパトロールの強化」(32.3%)が3割を超え最も高くなっている。次いで、「防犯カメラ、防犯灯などの防犯設備の整備・拡充」(16.5%)が1割台半ばで、「人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設」(12.1%)が1割を超える。(図表12-38)

<図表12-38> 犯罪防止対策をすすめる



35 IT（情報通信技術）を生かした社会づくりをすすめる

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表12 - 39）

<図表12 - 39> IT（情報通信技術）を生かした社会づくりをすすめる

